



NCJTA NEWSLETTER

北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.net>

第44号・2016年 4月発行

北加日本語教師会 2016年春の例会

June 4 (Sat) and 5 (Sun)

San Francisco State University



会長挨拶 高松信子

温暖化、天候不順が続きあちらこちらで思わぬ災害に見舞われていましたが、ひと雨ごとに春の色が濃さを増すようになって参りましたが、日本では桜前線が南より北上している報道が目につくようになってきました。ここアメリカでは大統領選挙の報道で日々賑わっていますが、ヨーロッパではテロによる暴動事件が後を絶たぬようです。このような昨今、日本語関係で教鞭をとっていらっしゃる先生方には学期も中間となり、試験その他で相変わらず多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。

さて、先日サンフランシスコ総領事館から総領事官邸にて会食のお招きがございました。NCJTA から会長、副会長、小中高大学の各代表の先生方、また CAJLT からの代表の先生方の参加により渡邊首席領事、森川領事、玉川広報文化センター 専門調査員、また国際交流基金ロサンゼルス日本文化センターの、原所長にも同席いただき「当地の日本語教育の現状に関する情報共有及び意見交換」の場として有意義な話し合いが行われました。原所長からは基金のグラント等についてのお話を聞く希な機会でもありました。その週末、総領事館主催によりサンフランシスコ JCCCNC にて「小学生日本語お話し大会」がございました。審査員として出席して参りましたが、例年に比べ参加者のレベルの高さに驚かされました。よほど練習をしたのでしょうか、自然に身についた日本語力で見事なスピーチを披露して観客を楽しませてくれました。これら生徒達が、今後日本語学習を続け、将来日米間の大切な懸け橋となってくれることを期待できそうで、大変喜ばしく感じました。そのためには我々教

NCJTA
2016
春の例会



師も更なる努力をしなければと身の引き締まる思いもさせられました。

それでは、ここにまた北加日本語教師会会員の皆様に春の例会のご案内をさせていただきます。今回はサンフランシスコ州立大学で開催されます。ここ数年クラスでのテクノロジー使用、教授法と教科書の研究と続いておりますが、今回は ICPLJ9 (Ninth International Conference on Practical Linguistics of Japanese) と併催で日本語教科書のワークショップと言語学の学会を兼ねて、異例の事ですが、6月4日、5日に開催されることとなります。「NEJ, A NEW APPROACH TO ELEMENTARY JAPANESE」(くろしお出版 2012) の著者である大阪大学の西口光一先生の講演、並びに日本語教育でご活躍の先生方をお招きしての発表を計画しております。詳細は下記例会のご案内を参照なさってください。このワークショップは、登録(registration fee)は無料で、お弁当の費用だけでご参加いただけます。皆さまぜひご参加くださいますようお願いしております。

最後になりますが、私は今回をもちまして会長任期を無事に終わらせて頂く事になります。この三年間のご支援誠に有難うございました。至らぬこともございましたが、お陰様で皆様方に支えられ無事任期を全うすることができました。今後も会員の皆様、役員の方々の支えにより我々の会が増々発展することを願っております。私も今後とも何かのかたちで北加日本語教師会でお役に立てればと思っております。就きましては現在空席もありますので、下記の役員の改選が必要となります。新たに会員の方でご興味のある方は応募下さいますよう宜しくお願い致します。ここ数年、任期期間が不確かでしたが各役職任期は二年です。()内は現在の役職担当者名です。会長(高松) 副会長(空席) 書記(空席) コミュニティーカレッジ代表(空席) 小学校代表(森岡) 名簿(須田) となっております。このうち会長には永田先生が推薦されています。また、副会長には南先生(南先生はこれまでも暫定的に副会長の役職をお引き受けくださっていました)、小学校代表には和氣先生がすでに立候補してくださっています。ご興味のある方は下記の「お知らせ」欄をご覧ください。四月には日本町で桜祭りの催しもあり、忙しい週末を送られる先生方も多いことかと存じます。日本語普及のためにコミュニティでご活躍くださいますよう、また6月の例会時は学期も終わり、成績も提出される時期だと思われまますので例会にお越しくださいますようお願い致します。その時皆様にお目にかかれまますことを心から楽しみにしております。

北加日本語教師会春の例会
NCJTA Spring Conference

『 ICPLJ9 Japanese Textbook Workshop』

NCJTA Spring Conference

6月4日(土)、5日(日)

@San Francisco State University

春の例会は、Ninth International Conference on Practical Linguistics of Japanese (ICPLJ9) : Japanese Textbook Workshops として併催いたしま

NCJTA 会計から



春の役員会議事録



す。例会の詳細は、次のウェブサイトに掲載予定ですので、どうぞらん下さい。 <http://mll.sfsu.edu/events/40121-icplj9-japanese-textbook-workshops>

Advance Registration/お弁当のご予約は、5月2日(月)締め切りです。 ニュースレターに添付の申込用紙をご利用ください。どうぞ奮ってご参加下さい。

NCJTA 会計から

NCJTA の会費は一般 15ドル、学生 5ドルです。2016 年度分の会費(2016 年 1 月から 12 月まで有効)を未納の方は本ニュースレターに添付の年会費納入用紙とともにご郵送くださるか、春の例会でお支払いください。昨年までの会費が未納の方も、今年のみ会費で結構です。

今年の春の例会は San Francisco State University で行われる 9th International Conference on Practical Linguistics of Japanese と併催で開催されます。事前に申し込みいただいた方には、お弁当を一つ 15ドルをご用意いたします。当日のお弁当の申込みは受け付けませんのでご了承ください。添付の例会申し込み用紙を高坂までお送りください。例会の事前申し込みの締め切りは 5月2日月曜日(必着)です。皆様のご参加をお待ちしております。

チェック支払先: NCJTA

チェック送付先: Seiko Kosaka

Department of Modern Languages
San Francisco State University
1600 Holloway Avenue
San Francisco, CA
94132

事前登録締め切り: 5月2日(月)(必着)

*二、三日前に投函されることをおすすめします。

(文責: 高坂)

2016 年 春の役員会議事録

日時: 2016 年 1 月 24 日午前 11 時半より午後 2 時まで

場所: 287 Dwinelle Hall, UC Berkley

出席者: 高松、南、森岡、和氣、清水、須田、伊藤、宇田、高坂、田中、神原 (順不同)

議題

➤ 役員改選について

以下の役員の改選が括弧内の理由により必要。会長 (任期満了)、副会長 (退職)、書記 (辞任) 及びコミュニティー・カレッジ代表

(辞任)。小学校代表役員に和氣先生の立候補があり、長年ご尽力を下さった森岡先生と交替。和氣先生の承認は次回例会で行う。

- 総領事館からのお知らせ
 - 年賀状コンテストは 500 点以上の応募があった。
 - 第 44 回小学日本語生お話し大会が Japanese Cultural & Community Center of Northern California (JCCCNC) で 3 月 13 日 (日) に開催される。
 - 2016 年の国費留学生の選考がはじまる。これは日本語日本文化研修を目的とする人のためのもの。申し込み締め切りは 2 月 26 日 (金)。
 - J-Pop サミット企画。日本語のカラオケコンテストを充実させ、カラオケパフォーマンスとともに日本語のパフォーマンスを採点する企画。
- 例会を兼ねて ICPLJ9 について 6 月 4 日、5 日に開催する。これは日本語教科書のワークショップと言語学の学会を兼ねる。
- 大阪大学の西口光一先生、筑波大学の砂川有里子先生、ペンシルベニア大学の高見智子先生に講演依頼。
- ニュースレターの発行に関して。

(文責：神原)



2015 年 NCJTA 秋の例会報告

『Innovative but Revised Traditional Japanese

Kokoro Education』

英明大学 三上香楽



去る 2015 年 11 月 7 日に NCJTA Fall Conference が Chabot College に於いて開催され、プログラムの一部として「Innovative but Revised Traditional Japanese Kokoro Education」と題し英明大学での取り組みを発表させていただきました。

英明大学は心の教育を理念として謳っており真言密教の教えを基に 4 学部 (密教・日本語文化・総合経営・芸術) を運営しております。当日は各学部での教授方針などを簡単に説明させていただきましたが、今回報告ということで日本語文化学部に関する発表内容を抜粋いたします。

私どもの日本語文化学部の生徒はローカルの学生がほとんどで日本語と文化を学んでいます。他の大学と違うのは当然言語や文化を学びますがその奥底にある“日本の心”というものを重要視しているところです。言語教育に関して言うと真言宗の宗祖である弘法大師空海が著した「声字実相義」を基本に教授しています。私どもは目に見えずしかしそこに存在するものを総称して仏様とし、求めて受け取る作用を感謝、求められて与える作用を慈悲と定義しています。酸素を仏様と位置付けて座禅や法話に登場させますが酸素があるところに“音”があり、音がまとまると

“字”になり、文字がまとまると“実相”として認識でき、これらには関係性があり“義”という法則が確認できる。1200年前に編纂された古くも新しい理論です。

言語教育という領域は文字・実相・義（置き換えると文字・単語・文法）を科学する領域ではありますがその大元になっている“音”というのは目に見えないものと目に見えるものが交わった時に生まれるという起源がありそれ抜きでは完成しないものであると教えています。つまり同じ音・文字・実相・義であっても見えない感情や情景などで全てが変わるし発した側と感受した側に相違があると全く違う様相になることがあるとも教えています。心が言葉を変えるわけです。

心というのは自分の中にある宇宙と自分以外の宇宙を指しますがこの二つが交わるところが“世界”となり生きている間、毎秒毎秒たくさんの“世界”を目の前に私たちは生きています。言葉がなければ高等動物としてお互いを理解できず自分の考えを伝えることができません。その言葉をどのように位置づけ使うのか？技術はもちろん必要ではありますが技術を語ると同時にもっと大事にしなければいけない要素もあります。その部分、そして全体の捉え方を心で観るとしてまず教師の心のレベルをあげることに生徒もそれに追随するように心のレベルを上げるように英明大学全学部で指導にあたっております。

心の教育ということで大学の目指すところは世界平和ですが、このカリフォルニア・全米において日本語または日本文化教育を通して古くから至る場所に存在し目に見えないけれどもたくさんの方々を魅了する“日本の心”を理解してくれる生徒が一人でも増えてくれたらと切望しつつ報告とさせていただきます。貴重な時間を与えていただきありがとうございました。

（文責：三上、写真：神原）



言葉の窓

『日本文学教員である20年余年をふり返って』

University of San Francisco

Stephen Roddy



私はイエズス会設立の University of San Francisco (USF) の現代語・古典語学部において今年で二十二年間日本文学及び文化の授業を担当しております。この長い歳月を顧りみますと、まず文学の領域では著名な作品以外には英訳本が少なかった1990年代に比べて状況がかなり好転してきたように思われます。東野圭吾の探偵小説などはもちろんのこと、日本人にさえあまり知られていない作家の作品及び学術論文など、その分野にいる我々でも読み切れないほど多種多様なものがアメリカまで渡ってきています。そのみならず当校の近くにある日本町のニューピープルやヴィズのおかげで日本のポップカルチャーの人気歌手、漫画、スタイルなどにも若者が素早くふれられるようになりました。ややもすると教員としての私の無知を曝け出すという怖い状況になってきているのかもしれない

れませんが、昔のように教材が乏しい時代に比べれば日本文化・社会の資料をワンタッチで集められる便利さがすばらしいような気がします。流行語や日本の偶々の出来事についてニュースが容易に手に入り、起こりつつある社会の動静が簡単に見られるようになり、日本文化の研究者である私にもとても刺激的です。

ところが最近少し気になる事があります。我が校だけではなくアメリカ全土の大学で日本の留学生の数が減り続ける傾向にあり、ここ二、三年間でほとんどゼロにまで下がっている大学もあるようです。少子化のせいなのか、または若い人にとってアメリカへの興味が薄らいだのか、原因がはっきりわかりませんが、日本人の若者とのふれあいが昔より少ない今の状況から見ると、「日本人学生がキャンパスに多かった昔に戻るかな」とさびしい思いに駆られてしまいます。幸いなことに、去年の春、半年ほど韓国のソーガング（西江）大学で教えるチャンスに恵まれ、そこで日本人の留学生が25%も占めた文学のクラスを担当しました。日本人の留学生たちに何故韓国へ来たのかと聞いたところ、韓国の歴史あるいは韓国語を学びたいという返答、また、韓国がとても住みやすく、韓国人が素敵だという答えもありました。これは日本と韓国の若い人達が仲良くなってきている兆しだなという気がしました。

昨年七月の猛暑の中、韓国から帰国する前に一ヶ月ほど中国や日本を訪れ、この三つの国の間の同異を久しぶりに経験しました。旅行中、韓国の文化や社会と日本のそれに共通点が意外に多いことを実感しつつ、また、歴史的に儒教の発源地である中国との繋がりも深いため、中国にも似ている側面が少なくないことも痛感しました。この三か国の若い世代が留学というルートで友好、相互理解を深め、必ず将来世界平和の助けになってくれると確信しております。領土問題や、未解決の慰安婦問題という課題がまだ遺ってはいても、今より明るい未来を築き上げていこうとしている青年がいることは心強く、こういう若者たちに敬意を表さなければなりません。

しかしながら、東アジアのみならず、太平洋の対岸にあるカリフォルニアへ戻ってきてもらいたいという私の気持ちも日本の若者に伝えたいです。今年三月初旬、東京と京都の三つの大学から親善・交流を目的にサンフランシスコ大学を50人の学生が訪れました。当校の日本語専攻者と副専攻者がキャンパスを案内し、お互いに親交を深めました。「その50人がもう少し長くいらればいいな」というこちらの学生たちの嘆きも聞こえてきました。私も全く同感でした。日米関係の発展には二つの国の学生たちが手を結びコミュニケーションができるというような交流を欠かすことができません。世界中の国々が闘わないようになるためには、このような若い人たちの和やか、かつ温かい気持ちの交流に頼らなければならないでしょう。日本語・日本文化の仲介者としての我々教員の使命がここにあるのではないかと確信しております。



日本語教育関連ニュース

Light Awards Presentation



3月5日にサンフランシスコのアジア美術館にて、Light Awardsのプレゼンテーションを行い、大雨の中、多くの先生方に参加していただきました。Light Awardsとは、教師としての成長や教育者としての能力を伸ばすための2年間のプログラムで、アラゴン高校の細井、リンブロック高校の小林、ワシントン高校の森川、プレシディオ中学校の田中の四人で参加しています。今回の中間発表会では、この1年間、様々な学会や勉強会への参加や授業見学を通して学んだこと、そこから各自従来のカリキュラムや活動を見つめ直して改善したことを中心に発表させていただきました。また、発表の後には参加者の皆様とカリキュラム、クラス活動、学習意欲、評価基準について意見を交換し合う貴重な機会もありました。2年目は互いの学生達の作文などを評価、分析し合い、学生達の能力をより一層伸ばすために効果的な方法を考えていきたいと思っています。

(文責、写真：田中)

日本の大学生 サンフランシスコ大学訪問 日本語で交流

3月9日 筑波、早稲田、立命館大学の学生49名が、サンフランシスコ大学を訪問し、日本語を学ぶ同校の学生と交流しました。一行は、外務省の対日理解促進プログラム「架け橋プロジェクト」の一環として春休みを利用してサンフランシスコ郊外に滞在中で、この日はアメリカのキャンパスライフを体験。早稲田大学政治経済学部3年の大野友（おおのゆう）さん「自然豊かで町の中にとけ込んだ美しいキャンパス。多くの学生が日本に感心を持っている」と驚いていました。同校の日本語専攻の二年生ジョリー・バレティさんは「日本の大学生といろんなことを話し合えた。一生に一度の体験」と声を弾ませました。同大学の永田教授は「アメリカと日本の友好親善のために、これからも積極的に学生の交流を続けて行きたい」と希望を語りました。



キャンパスの教会の前で「架け橋 プロジェクト」一行



日本の学生に説明する 永田教授 (文責、写真：清水)

第44回小学生日本語お話大会



在サンフランシスコ日本国総領事館、北加日米会の共催で、本年も、恒例の第44回小学生日本語お話大会が、3月13日にサンフランシスコ・ジャパンタウンのJCCCNC (Japanese Cultural and Community Center of Northern California)で開催されました。北加日本語教師会からは、高松会長が審査員として、南副会長が大会委員長として参加しました。

先生や家族の応援の中、ベイエリアの各学校から参加した39名もの小学生が、心温まるお話、大好きな本、将来の夢、家族、日常生活など、さまざまなお話を熱心に披露してくれました。日本語を heritage language

(継承言語)としてご家庭でご使用のお子さん、日本語を外国語として学校で学んでいらっしゃるお子さん、いずれにしましても、第二言語でスピーチをすることは勇気のいることですし、人前でスピーチをするとなりますと、その困難さはいっそうのことです。本当にすばらしい出来映えでした。参加された小学生の皆さん、ありがとうございました。なお、今回の結果は下記の通りです。

カテゴリー1 日本語を話さない家庭の小学生 1年生～3年生

一等賞: ラウ 祥一郎 (2nd Grade, San Mateo Nippon Gakuyen)
「おせちりょうり」

二等賞: ビアンキ・シェナ (3rd Grade, Clarendon Elementary School)
「フェンシング」

三等賞: カースリ・キーラ (3rd Grade, Clarendon Elementary School)
「ダンスは最高！」

カテゴリー2 日本語を話す家庭の小学生 1年生～3年生

一等賞: トゥルドー 海 (1st Grade, Sakura Gakuen)
「3つのまほうのキャンディ」

二等賞: コックス-カレアーヌ 桜 (1st Grade, Sakura Gakuen)
「わたしがたいじにしているもの」

三等賞: リング 菜々実 (2nd Grade, Sakura Gakuen)
「あったらいいな (と思うの)」

カテゴリー3 日本語を話さない家庭の小学生 4年生～

一等賞: ロドリゲス・イザベル (5th Grade, Clarendon Elementary School)
「わたしのだいすきな あき おんちゃん」

二等賞: トーマスロビンソン・クロンロッド (3rd Grade, Sakura Gakuen)
「東京でぜったいに行きたいばしょ」

三等賞: シマモト・トング・ケイラ・ひでこ (5th Grade, Rosa Parks JBBP Elementary School) 「おりづる」

カテゴリー4 日本語を話す家庭の小学生 4年生～

一等賞: スパーゴ 絵里佳 (4th Grade, Sakura Gakuen)
「スーパーヘルパーロボット」

二等賞: 本郷 健 (5th Grade, Clarendon Elementary School)
「早くこいこい夏休み」

三等賞: 杉山 諒 (5th Grade, Clarendon Elementary School)
「ぼくの父」

(文責: 南)

森川先生 CLTA から

The Outstanding Teacher of the Year 賞受賞

3月17日から4日間、VisaliaでCLTA_(California Language Teachers Association)のAnnual Conferenceが行われ、IPA(Integrated Performance Assessments)、21st Century Skills、World Readinessなどを中心に様々な発表が行われました。また、北加教師会会員のワシントン高校の森川先生がThe Outstanding Teacher of the Yearという名誉ある賞を受賞しました。森川先生、おめでとうございます。

(文責: 田中)



お知らせ

総領事館インフォメーションセンターから

1 北加桜祭りでの当館関連文化紹介事業

(1) 日本の酒類テイस्टィングの開催

在サンフランシスコ日本国総領事館は、北加桜祭りの開催期間中の4月9日（土）及び10日（日）、酒造メーカーなどの協力を得て、日本の酒類テイस्टィング・イベントを開催します。同イベントでは、日本酒、梅酒、焼酎などの魅力と奥深さを紹介します。

【概要】

日時：4月9日（土）及び10日（日）11：00～17：00

場所：サンフランシスコ日本街 Post St. & Webster St. 付近

入場料：10ドル（21歳以上限定）

(2) 「第二回桜クラシック」けん玉コンテストの開催

当館は、北加桜祭りの開催期間中の4月9日（土）及び10日（日）、当地のけん玉団体の KendamaUSA との共催で、けん玉コンテスト「第二回桜クラシック」を開催します。同コンテスト決勝は、4月10日午後にサンフランシスコ日本街のピース・プラザ・メインステージで開催されます。同イベントでは、併せて、けん玉プロ・プレーヤー及びセミ・プロ・プレーヤーによるけん玉パフォーマンスも行われます。アメリカで生まれ変わった新しいけん玉のプレー・スタイルを是非一度ご覧ください。

【概要】

日時：4月9日（土）及び10日（日） 11：00～17：00

（ファイナル：4月10日（日）16：15～17：00

場所：サンフランシスコ日本街

（決勝戦：ピース・プラザ・メイン・ステージ）

入場料：一般公開、入場料無料

2 文化事業ボランティア（21歳以上）の募集

在サンフランシスコ日本国総領事館では、サンフランシスコ日本街で開催される第49回の北カリフォルニア桜祭りで当館が実施する文化事業をお手伝い頂けるボランティアを募集しています。ご関心をお持ちの方は、下記の募集要領をご確認頂き、是非ご応募下さい。

【ボランティア募集要領】

日時：4月9日（土）及び10日（日） 10：00～17：00

場所：サンフランシスコ日本街

内容：当館が主催する酒テイस्टィング・イベントの運営ボランティア

人数：約15名

条件：21歳以上で、最低でも土日どちらかに終日お手伝い頂ける方

本件に関するお問い合わせはこちら：ryan.okada@sr.mofa.go.jp

申し込みはこちら：<http://goo.gl/forms/tuJ373Tcf3>

3 高精細デジタル技術を活用した浮世絵展

4月7日（木）～4月21日（木）、在サンフランシスコ日本国総領事





館は、日比谷コンピュータシステムと株式会社日立製作所との共催で、同広報文化センター・ギャラリーにおいて、アメリカで初めてとなる高精細デジタル複写浮世絵の展示会を開催致します。同展示会では、浮世絵の美が細部にいたるまで鮮やかに再現することが可能な最先端のデジタル画像処理で作成された約20枚の浮世絵複写を展示します。

なお、4月7日(木)には、オープニング・イベントとして、日比谷コンピュータ・システムの担当者による世界のトップ・クラスの最先端デジタル画像処理技術とそれを使った美術品の複写に関するギャラリー・トークを開催します。

上記イベントの詳細については当館ホームページ乃至フェイスブックをご確認下さい。

第三回「お茶三昧」

第三回「お茶三昧」茶の湯と茶文化に関するサンフランシスコ国際会議
開催 5月1日 日曜日 サンフランシスコ州立大学にて

茶の湯と茶文化に関する国際会議が、5月1日サンフランシスコ州立大学で開かれる。

千家十職釜師 第16代大西清右衛門氏「茶の湯釜:美と鑑賞」、茶室建築史研究家 桐浴邦夫博士「『山上宗二記』に見る桃山の茶室」の二つの特別講演が行われる。

また、スウェーデン、イェーテボリ大学 トーマス・エクホルム氏が岡倉天心著「茶の本」に言及し「第二次世界大戦前の西洋における茶の湯観」について、そしてフロリダ州立大学のアリエル・スティラーマン博士が利休百首を中心として「和歌で茶の湯を学ぼう - 江戸時代初期の文化教育をめぐる」と題する研究発表を行う。会場では、参加者全員に抹茶と和菓子がふるまわれるほか、茶杓削りのデモンストレーションや、京都市文化財となっている大西氏の茶釜の展示も。

登録申込書は <http://japancenter.sfsu.edu> からダウンロードできる。
ご質問は 同会議チェアのマッキオン教授 mmckeon@sfsu.edu まで。

ワークショップ・イベントのお知らせ

- Northern California Japanese Teachers' Association (NCJTA) Annual Spring Meeting
北加日本語教師会春の例会
 - 日時：6月4日(土)・5日(日)
 - 春の例会は、*Ninth International Conference on Practical Linguistics of Japanese (ICPLJ9)* : Japanese Textbook Workshops として併催いたします。
- Advance Registration/お弁当のご予約は、5月2日(月)締め切りです。
- 例会の詳細は、以下のウェブサイトに掲載する予定ですので、ごらんください。
- <http://mll.sfsu.edu/events/40121-icplj9-japanese-textbook-workshops>
- 場所(予定) : San Francisco State University, College of Liberal &



Creative Arts, Auditorium (HUM 133)

➤ 主な講演者一覧：

- ◇ 6月4日(土) 基調講演 西口光一先生：関西学院大学 経済学部（1979年3月）卒業、教育学修士国際基督教大学 大学院教育学研究科博士前期課程（1987年3月）修了（教育学修士）、大阪大学 言語文化研究科（言語文化学）博士（2014年6月）。職歴：大阪大学 言語文化研究科 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター講師、ハーバード大学（Harvard University）言語文化部上級日本語課程主任を経て、現在、大阪大学 国際教育交流センター教授、同大学院言語文化研究科を兼任。西口先生のご専門は日本語教育学、言語心理学で、ご著書には、『対話原理と第二言語の習得と教育』（2015年、くろしお出版）、『第二言語教育におけるバフチンの視点』（2013年、くろしお出版）、『文化と歴史の中の学習と学習者』（編著、2005年、凡人社）、『日本語教授法を理解する本－歴史と理論編』（1995年、バベルプレス）、『ことばと文化を結ぶ日本語教育』（共著、2002年、凡人社）などがございます。日本語教科書としては、『NEJ: A New Approach to Elementary Japanese – テーマで学ぶ基礎日本語』（くろしお出版）、『基礎日本語文法教本』（アルク）、『みんなの日本語初級 漢字』（監修、スリーエーネットワーク）、『例文で学ぶ 漢字と言葉 N2』（スリーエーネットワーク）、『日本語おしゃべりのたね』（監修、スリーエーネットワーク）、『Perfect Master Kanji』（iPhone アプリ、ナウプロダクション）など多数ございます。西口先生の日本語教育の発展に対するご貢献が多岐にわたるものと、多くの日本語教育関係者は認識しています。ご期待ください。
- ◇ 6月5日(日) 特別講義 砂川有里子先生：筑波大学名誉教授。特筆すべきは、日本語教育と日本語研究の有機的な結合に成功されているという点です。まず、教材開発の分野では、自習用テキストとして、『日本語文法セルフ・マスターシリーズ2 する・した・している』（単著、1986年くろしお出版）、授業用テキストとして、『ラジオ番組「朝日新聞の声」を聴く』（共著、1987年くろしお出版）、辞書として、『教師と学習者のための日本語文型辞典』（共著、1998年くろしお出版）、さらにタスク集として、『おたすけタスク-初級日本語クラスのための文型別タスク集』（監修、2008年くろしお出版）など多数あり、日本語教育関係者は砂川先生のお仕事の恩恵を多種多様な形で受けています。さらに、こうした日本語教育への多大な貢献ばかりでなく、同時に、日本語研究においても、『文法と談話の接点－日本語の談話における主題展開機能の研究』（単著、2005年くろしお出版）や『日本語教育研究への招待』（共編著、2010年くろしお出版）を出版され、常に第一線で研究成果をご発表です。最近作では、『英語版 日本語文型辞典』（監修、2015年くろしお出版）があり、日本語教育と日本語研究を両立させ、両者をバランスよく推進されている砂川先生は、まさに理想的な教育研究者だと言えるでしょう。また、現在、国立国語研究所の客員教授として、プラシヤント・パルデシ先生の『基本動詞ハンドブック』というプロジェクト、そして迫田久美子先生の学習者コーパス構築プロジェクトにも参加されています。
- ◇ 招待講義 高見智子先生：コロンビア大学（Columbia University）大

学院、およびペンシルベニア大学大学院修士課程修了、教育学修士 (Ed.M., M.S.) で、現在は、ペンシルベニア大学 (University of Pennsylvania) 外国語専任上級講師 (Senior Lecturer in Foreign Languages) ・東アジア言語文明学科の日本語プログラムディレクター。高見先生のご専門は外国語教育で、著書には『中級から伸ばす : ビジネスケースで学ぶ日本語』 (単著、2014年、The Japan Times) 、『未来を創ることばの教育をめざして : 内容重視の批判的言語教育 (Critical Content-Based Instruction) の理論と実践 (日本語教育学研究 6) 』 (共編、2015年、ココ出版) があります。また、主要論文には、“Building Connections between Language and Culture Learning: A Hybrid Curriculum Model for More Effective Business Japanese Teaching” (*How Globalizing Professions Deal with National Languages: Studies in Cultural Studies and Cooperation*, 2010, pp. 79–99) “Infusing the National Standards into Business Language Curriculum” (*Global Business Languages*, 2010) 、 “Employing International Business Cases for Business Language Instruction.” (*Global Business Languages*, 2008) などがあります。2007年には、全米日本語教育学会で専門日本語教育研究会 (Japanese for Specific Purposes-Special Interest Group) を立ち上げ、代表を務められています。また、2014年より全米日本語教育学会にて理事、および National Japanese Exam (NJE 日本語テスト) ディレクターを務めていらっしゃいます。

(文責 : 南)

Events at the BLC

UC Berkeley Language Center

Lecture by E. Kearney, April 1, 2016

Erin Kearney, Graduate School of Education, University at Buffalo
Developing Symbolic Competence in Modern Language Classrooms: Expanding Meaning-Making Potentials

Lecture by R. Kern, April 15, 2016

Rick Kern, UC Berkeley Technologies and Literacies and Language Education:
Looking beyond communicative competence

Lectures by BLC Fellows (Perco, Budner, Scott, Mackenzie), April 29, 2016

The Potential of Graphic Novels in Language Teaching, with Emphasis on First Year Spanish

Keith Howard Budner, GSR, Comparative Literature

Teaching Russian Language through Contemporary Visual Culture

Lily Scott, GSR, Slavic Languages & Literatures

Looking and Learning: Visual culture in the language classroom

Jennifer Mackenzie, GSR, Italian Studies

北加日本語教師会より役員改選のお知らせ

北加日本語教師会の役員で改選の必要があるのは会長、副会長、書記、コミュニティーカレッジ代表、小学校代表、名簿となっております。このうち、会長には永田先生、副会長には南先生、そして、小学校代表には和氣先生がそれぞれ立候補なさっています。上記の役員に立候補ご希望、もしくはどなたかを推薦されたい方は添付の用紙にご記入の上、下記住所までご郵送ください。(5月27日必着高松まで)

宛先 : Nobuko Takamatsu

City College of San Francisco

50 Phelan Avenue, A108

San Francisco, CA 94112



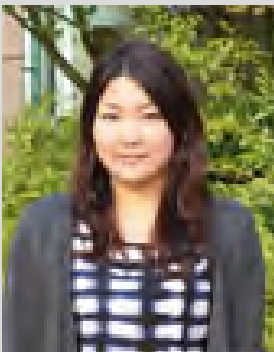


先生の紹介欄

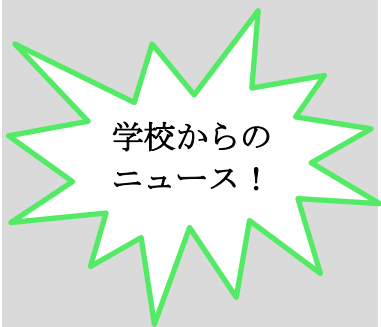
和氣かおり先生

- お名前を教えてください。
和氣かおりと申します。
- 教えている学校名、町を教えてください。
サンフランシスコ市にあるローザパークス JBBP 小学校で教えております。(Rosa Parks Elementary School Japanese Bilingual Bicultural Program です。)
- 日本語教師はいつから？
2004年からです。
- ご趣味は？
忙しくてなかなか機会がないのですが、「旅行」です。特に世界遺産に興味があるので、世界中の世界遺産を訪ねてまわるのが夢です。他には、「音楽鑑賞」、「読書」です。最近は毎日運動するように心がけているので、走ることが趣味の一つかもしれません。それから、「食べる事」です！
- 日本の出身地は？
島根県です。それはどこ？と思われる方もたくさんいらっしゃると思いますが、海あり山ありで、自然に恵まれた場所です。「出雲大社」「松江城」など観光地もたくさんありますので、皆様是非お越しください。
- アメリカに来てから何年ですか。
16年になります。
- 仕事について、何か一言お願いします。
日本では小学校の教員として働いていたので、アメリカで教え始めた頃日米の小学校の違いに戸惑う事も多かったのですが、少しずつ慣れ、今は楽しみながら仕事をしています。子供達が意欲、興味をもって日本語や日本文化を学びたいと思えるような指導をしていけたらと考えております。
- 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。
色々な学校の先生方と情報交換できたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

近藤眞由先生



- お名前を教えてください。
フルネームは Mayu Kondo Loffgren です。しかしクラスでは「近藤」を使っています。
- 教えている学校名、町を教えてください。
今学期は San Francisco State University で教えさせていただいております。
- 日本語教師はいつから？
2013年からです。
- ご趣味は？
Zumba と料理です。
- 出身地は？
東京の世田谷区です。



Silver Creek High School
Nicholas "Nick-Sensei"
Sturtevant

UC Santa Cruz
Sakae Fujita 先生

- **アメリカに来てから何年ですか。**
2009年の6月に来たので、もうすぐ7年になります。
はじめの2年は San Diego に住んでいました。Bay Area には 2011 年に来ました。
- **仕事について、何か一言お願いします。**
外国で自分の国の言語や文化を広められる事にとてもやりがいを感じています。
Teaching は奥が深く、どうしたら学生がもっと日本語に興味を持ってくれるかを考えながら Lesson plan を作るのが楽しみでもあり、まだまだ挑戦でもあります。
- **会員みなさんへのメッセージがあればどうぞ。**
日本語教師を始めたばかりで、わからない事が多々ありますが、何卒よろしくお願い致します。

私の学校でこんなことが……
(先着順)



シルバー・クリーク高校では、食べ物のユニットでいろんな和食を作ってみました。



去年5月のうちの学部（応用言語学部）の演劇プロジェクト（The 15th International Playhouse）で、3年ぶりに狂言いたしました。添付の写真はその時のリハーサルにとったものだったと思います。四日間にわたる公演もお客様にたくさん笑っていただき無事終わりました。



George Washington High
School, San Francisco
Tomokazu Morikawa 先生



東日本大震災の5周年メモリアルでボランティアに学生たちと参加しました。

Annual IGO Challenge
Day at George
Washington HS



編集後記

今回は春の例会がいつもより遅くにありますので、ニュースレターの発行がやや遅めになりました。ニュースレターに関するご意見、ご示唆等、ございましたら、どうぞ下記までご連絡下さい。

神原：wkambara@berkeley.edu

清水：masakoshimizu@sbcglobal.net

北加日本語教師会 連絡先

NCJTA Officers

<事務局>

<http://www.ncjta.org/>
NCJTA. c/o Nobuko Takamatsu
City College of San Francisco
50 Phelan Avenue, A108
San Francisco, CA 94112
E-mail: nobukot@sbcglobal.net

<役員>

会長： Nobuko Takamatsu 高松信子(同上)

(副会長： Masahiko Minami 南雅彦
San Francisco State University
E-mail: mminami@sfsu.edu)

書記：

会計： Seiko Kosaka 高坂聖子
City College of San Francisco
E-mail: seikogon@gmail.com

名簿： Kyoko Suda 須田恭子
University of San Francisco
E-mail: sudak@usfca.edu

ニュースレター編集 : Wakae Kambara 神原若枝
University of California, Berkeley
E-mail: wkambara@berkeley.edu

広報: Masako Shimizu 清水真佐子
E-mail: masakoshimizu@sbcglobal.net

フランク連絡員: Masahiko Minami 南雅彦
San Francisco State University
E-mail: mminami@sfsu.edu

ウェブ担当: Koraku Mikami 三上香楽
Eimei University
E-mail: tmfrontier@gmail.com

<各レベル代表>

小学校代表 : Takeko Morioka 森岡妙子
Rosa Parks JBBP Elementary School
E-mail: taeko3568@aol.com

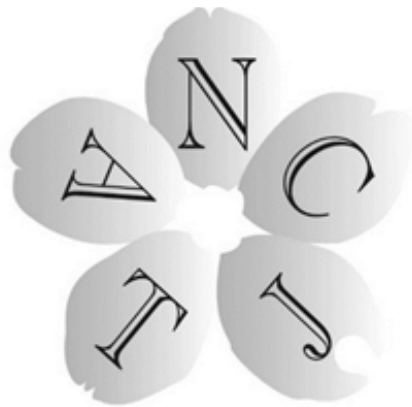
中学校代表 : Rie Tanaka 田中理恵
Presidio Middle School
Email: rietanaka@gmail.com

高校代表 : Tomokazu Morikawa 森川知計
George Washington High School
E-mail: tomokazu28@gmail.com

学園代表 : Yoko Uda 宇田陽子
Soko Gakuen
E-mail: yokouda_n@yahoo.co.jp

コミュニティーカレッジ代表 :

大学代表 : Junko Ito 伊藤潤子
University of California, Davis
E-mail: jito@ucdavis.edu



Northern California Japanese Teachers' Association



NCJTA & ICPLJ PRESENT:

9TH International Conference on Practical Linguistics of Japanese (ICPLJ): JAPANESE TEXTBOOK WORKSHOPS

Sat & Sun, June 4 & 5
San Francisco State University
Humanities Building

REGISTRATION FORM

DEADLINE: MONDAY, MAY 2
(Received, Not postmarked)

Please complete, make check payable to NCJTA and mail to:

Seiko Kosaka
Department of Modern Languages (formerly, Foreign Languages)
San Francisco State University
1600 Holloway Avenue
San Francisco, CA 94132

Name: _____

Email address: _____

School/Institution: _____

登録は北加日本語教師会会員は無料ですが、この用紙でのお申し込みが登録となります。

.....
Please check box(es) below and send a check to the above address with this form.

Please <input type="checkbox"/>	Item	Fee	Sub Total
<input checked="" type="checkbox"/>	ICPLJ9:JAPANESE TEXTBOOK WORKSHOPS	None (NCJTA会員のみ)	
	2016 Membership fee	\$15.00	\$
	2016 Membership fee for Students	\$5.00	\$
	Saturday Lunch, June 4 (Circle ONE: Vegetarian or Non-Vegetarian)	\$15.00	\$ (Veg or Non?)
	Sunday Lunch, June 5 (Circle ONE: Vegetarian or Non-Vegetarian)	\$15.00	\$ (Veg or Non?)
		TOTAL	\$



北加日本語教師会・役員立候補届用紙

現在、以下の役職が空席です。立候補されたい役職に○をつけてください。

	会長		副会長
	書記		名簿
	コミュニティーカレッジ代表		小学校代表

役員に立候補ご希望、もしくはご推薦されたい方はこの用紙にご記入の上、下記の住所までご郵送下さい（5月27日必着 高松まで）。

宛先：Nobuko Takamatsu

City College of San Francisco, 50 Phelan Avenue A108, San Francisco, CA 94112

お名前（日本語） _____
(ふりがな) _____

お名前（英語） _____

Position Statement (なぜその役職に興味があるのか簡単・簡略に述べてください)

連絡先：

E-mail：

Tel：

勤務先：



北加日本語教師会

会費納入/新会員登録用紙

前年度もしくは前々年度から未納入の会員の方々におかれましては、過去にさかのぼって未納入分はご請求いたしませんので、是非とも今年度分からお支払いいただけますよう、切にお願い申し上げます。2016年度分の会費は2016年1月1日から2016年12月31日まで有効となっております。

年会費 一般\$15、学生\$5 Check payable to: NCJTA

Mail to: Seiko Kosaka

Department of Modern Languages (formerly, Foreign Languages)

San Francisco State University, 1600 Holloway Avenue, San Francisco, CA 94132

(新規・継続) どちらかにマルをつけてください。

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____

1) 受理確認メール (要・不要) 2) 領収書 (要・不要) どちらかに○をつけてください。

.....き.....り.....と.....り.....線.....

住所変更/氏名変更等届出用紙

下記のうち該当する変更事項を○で囲み、必要な情報を書き入れてください。変更のない方は、提出の必要はありません。

Mail to: Seiko Kosaka

Department of Modern Languages (formerly, Foreign Languages)

San Francisco State University, 1600 Holloway Avenue, San Francisco, CA 94132

1. 氏名の変更 旧氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

新氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

2. 住所変更/勤務先変更 (新しい情報だけご記入ください。)

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____